

(評価者：適正利用・エコツーリズムワーキンググループ)

モニタリング項目	No.19a 適正利用に向けた管理と取組		
モニタリング実施主体	環境省（適正利用・エコツーリズム WG 事務局）		
対応する評価項目	VII. レクリエーション利用等の人為的活動と自然環境保全が両立されていること。		
モニタリング手法	知床白書掲載内容及びエコツーリズム検討会議資料より適正利用に向けた管理と取組を抽出し列挙		
評価指標	管理と取組の実施状況		
評価基準	「知床エコツーリズム戦略 9. 具体的方策」を実現するための管理と取組が行われていること。		
評価	<input type="checkbox"/> 評価基準に適合		<input type="checkbox"/> 評価基準に非適合
	<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 悪化
	<p>評価には別紙 No. 19a 評価シートを参照</p> <p>※評価のめやす 「現状維持」： 「改善」「悪化」以外の状況。 「改善」： 前年と比較して新たな管理や取り組みが行われた。 「悪化」： 前年と比較して必要な管理や取り組みが極端に減少している。</p>		
今後の方針			

コメント（実際の評価シートには記載しません。）
※遺産登録時から現時点までである程度の管理の枠組みができているため、現在の管理状況を基準に評価する。

No.19a 評価シート

項 目	
<p>(1) 利用コントロール</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然環境の保全、観光客の安全確保、原始性の保持、付加価値の向上等の目的に応じた利用コントロールが実施されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 知床五湖利用調整地区制度の運用（別添 19a-1） 行政機関等による管理活動の実施（別添 19a-2） 〇〇〇〇
<p>(2) 守るべきルールの設定と指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然環境の保全、観光客の安全確保、地域の文化・生活への配慮等の目的に応じたルールが設定されているか。また、それらのルールの指導が行われているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 行政機関等による管理活動の実施（別添 19a-2） 〇〇〇〇
<p>(3) 情報の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域主体のエコツアーの増加や守るべきルールの周知を目的とした情報発信が行われているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の公開および発信の運用（別添 19a-3） 情報発信 〇〇〇〇
<p>(4) ガイドの育成とガイド利用の推奨</p> <ul style="list-style-type: none"> ガイドの育成が行われ、ガイド利用が推奨されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇〇〇〇
<p>(5) 文化的資産等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 保全に留意しながら文化的資産等が活用されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 赤岩昆布ツアーでの取組（別添 19-〇） 「しれとこ森づくりの道」での取組（別添 19-〇） 〇〇〇〇
<p>(6) 利益の還元</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光利用によって得られた利益が地域の自然や社会に還元されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 知床ウトロ海域環境保全協議会での取組（別添 19a-〇） 赤岩昆布ツアーでの取組（別添 19a-〇） 知床五湖冬期利用での取組（別添 19a-〇） 〇〇〇〇
<p>(7) 施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 年次計画による計画的な施設整備が行われているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇〇〇〇
<p>(8) モニタリング</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光客の評価（満足度や感想など）やニーズ、行動特性の変化等がモニタリングされているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 満足度調査等のアンケートの実施（別添 19a-〇） 五湖冬期利用、赤岩地区昆布ツアーアンケート結果（別添 19a-〇） 〇〇〇〇

(評価者：適正利用・エコツーリズムワーキンググループ)

モニタリング項目	No.19b 適正な利用・エコツーリズムの推進		
モニタリング実施主体	環境省（適正利用・エコツーリズム WG 事務局）		
対応する評価項目	VII. レクリエーション利用等の人為的活動と自然環境保全が両立されていること。		
モニタリング手法	遺産地域利用関係者への聞き取り調査により適正な利用やエコツーリズムの推進状況を把握		
評価指標	「知床エコツーリズム戦略」の基本方針に沿った事業の実施状況、利用者の増減、客層の変化、自然環境に対する懸念		
評価基準	「知床エコツーリズム戦略 5. 基本方針（１）、（２）」に基づき、適正な利用およびエコツーリズムの推進が行われているか。		
評価	<input type="checkbox"/> 評価基準に適合		<input type="checkbox"/> 評価基準に非適合
	<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 悪化
	<p>評価には別紙 No. 19b 評価シート参照</p> <p>※評価のめやす</p> <p>「現状維持」： 多くの事例で「改善」「悪化」以外の状況であり、適正な利用・エコツーリズムの推進が継続的に行われていると判断できる。</p> <p>「改善」： 前年と比較して、新たな取り組みが行われた事例がある。それにより、利用者数や客層が変化するなど、自然環境や利用への懸念が少なくなった。</p> <p>「悪化」： 前年と比較して運用状況の悪化や利用者数の急激な増加、客層の変化等があり、自然環境や利用への影響に懸念が増加している。</p>		
今後の方針			

No. 19b 聞き取り調査用シート

団体名			
事業名			
事業内容			
記入日	平成 年 月 日	記入者	様
		連絡先 TEL	

貴団体が催行されている事業、ツアーが該当すると思われる箇所の にチェックの記入をお願い致します。

① 「知床エコツーリズム戦略」の基本方針に沿って事業を実施しているかお伺いします。

【基本原則】

- 遺産地域の自然環境の保全とその価値の向上に貢献している。
- 世界の観光客への知床らしい良質な自然体験を提供している。
- 持続可能な地域社会と経済の構築に役立っている。

【エコツーリズムを含む観光利用の推進にあたって必要な視点】

- 事業、ツアーが、地域主体・自律的・持続的である。
- 事業、ツアーでは、共有・協働・連携などのネットワークが構築されている。
- 自然環境の保全に配慮している。
- 利用者の自然生態系に関する理解が促進されている。
- 事業及びツアーが、地域の文化・歴史的背景を踏まえて実施されている。
- 利用者へ自己責任の原則が認知され、管理責任の分担が行われている。
- 事業、ツアーは知床のブランド価値を高めるという視点がある。
- 事業、ツアーは順応的管理型で実施されている。

「知床エコツーリズム戦略」に則り、特に力を入れて取り組んでいることや、新たに始めた取り組みなどがあればご記入ください。

② 利用者数、客層の状況についてお伺いします。

利用者数は、

- 増加している
- 減少している
- どちらともいえない

客層（特に、自然環境への配慮や世界自然遺産・知床についての知識があるかなど）は、

- 変化している
- 変化していない
- どちらともいえない

利用者数や客層について、気がついたことや気になることがあればご記入ください。

③ 事業、ツアーで使用しているフィールドや地域の自然環境について、何か気になることや心配なことはありますか。

- ある
- ない

「ある」方は内容をご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

(評価者：適正利用・エコツーリズムワーキンググループ)

モニタリング項目	No.19c 利用者数の変化		
モニタリング実施主体	関係行政機関、事業者等		
対応する評価項目	VII. レクリエーション利用等の人為的活動と自然環境保全が両立されていること。		
モニタリング手法	利用者カウンターによるカウントおよびアンケート調査等により主要利用拠点における利用者数を把握		
評価指標	各利用拠点等の利用者数		
評価基準	基準なし（利用者の実態を把握し、様々な施策の検討の際の基礎的な情報を収集するためのモニタリング）		
評価	<input type="checkbox"/> 評価基準に適合		<input type="checkbox"/> 評価基準に非適合
	<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 悪化
	評価には別紙 No. 19c 評価シート参照		
今後の方針	当面は評価基準なし。今後、遺産登録前からの利用の変動幅などに明確な傾向が確認できれば、評価基準の設定を検討する。		

No.19c 評価シート

モニタリング項目	No. 19c 利用者数の変化					
評価基準	基準なし					
評価指標	各利用拠点等の利用者数					
項目	2005年 (遺産登録年)	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
斜里町観光入込数						
羅臼町観光入込数						
五湖園地全体利用者数 (駐車場利用者数+シャトルバス五湖利用者数)						
知床五湖高架木道・地上遊歩道利用者数						
知床五湖シャトルバス利用者数 (カムイワッカ以外の利用を含む)						
カムイワッカ来訪者数						
フレペの滝利用者数 (フレペの滝カウンター調査)						
連山登山道利用者数 (岩尾別カウンター)						
連山登山道利用者数 (硫黄山カウンター)						
連山登山道利用者数 (湯ノ沢カウンター)						
羅臼湖登山道利用者数 (羅臼湖カウンター調査)						
熊越えの滝利用者数 (熊越えの滝カウンター調査)						
陸路による知床岬、知床沼方面利用者数 (ウナキベツ・観音岩カウンター調査)						
岩尾別登山口、羅臼温泉登山口および硫黄山登山口における入林簿等からの入山数とそのうちの縦走利用者数						
ウトロ地区観光船利用者数						
羅臼地区観光船利用者数						
シーカヤック利用者数						
サケ・マス釣り利用者数 ウトロ						
サケ・マス釣り利用者数 羅臼						
知床自然センター利用者数						
羅臼ビジターセンター利用者数						
知床世界遺産センター利用者数						
知床世界遺産ルサフィールドハウス利用者数						

コメント (実際の評価シートには記載しません。)

※これまで把握していた以下の項目は長期モニタリングとして把握しないこととする。

- ・知床五湖冬季利用⇒あくまでも斜里町観光協会が主催するツアーとしての利用。年ごとの運用に影響を受けるほか、部会からの報告に含まれるため除外。
- ・縦走路の下山者数、滞在日数、宿泊者数⇒入林簿からの縦走者数の把握で十分なため除外。
- ・ダイナビジョンや道の駅などの観光施設⇒適正利用には直接影響しないため除外。